

商業エリア

飯田橋駅やサクラテラス、店舗が建ち並び多くの人々が訪れる商業エリアをナレッジコムの拠点として位置づけます。ビルの空き室等にナレコモスペースや事務所、案内所等を設け、外部に対し情報を発信していきます。

根を生やすナレコモスペース

マチの余白にナレコモスペースやナレコモ広場として機能を持たせることで、飯田橋プロムナードから路地を抜け、奥の空地へ歩行者の道が生まれます。また、路地内にナレコモ広場を設けることで生物たちの住処が毛細血管状に広がりに街に浸透していきます。

速度を調整する路面デザイン

飯田橋プロムナードでは路面に対しスリット上に植物やウッドデッキを配置しています。これにより歩行者はズミカルな街中を自由に歩き、自転車は障害物の少ないエリアを自然と通り抜けることが出来ます。そして、速度の違いエリアを作ることで建物内のアクティビティがふれ出します。また、緊急時には車が通れるよう配慮します。

境界の撤廃・まちが見守る学校づくり

現在の閉鎖的な環境を作り出している塙といった境界を撤廃することで学校の空間をまちにおおきく分け、テラスやナレコモ広場、モビリティステーションを挿入していきます。まちの動線と子供たちの動線が交差し、寄り添うことで「見る」見られる」関係を作り出し、まち全体で子供たちを見守り育てることが出来ます。

教育エリア

まち全体が子供たちを守り、感性を養う幼小中高大の共同体として位置づけます。そこで現在の閉鎖的な雰囲気を形成している学校の塙を取り払い境界をなくします。そこに雨水を利用したピオトープやナレコモ広場を設けることで学生同士や住人、観光客、そして生態系の偶発的な出会いや学びを促進します。

北の丸公園エリア

この地で生きてきた生態系を保護しつつ、ふれあいを促進し、都市に情報と自然を発信する拠点となる生きた教科書として位置づけます。外部に対しては3つのゲートにモビリティステーションを設け、3つの速度に分かれたランドスケープを提案することでより多くの人々が訪れやすい公園となります。

流動と滞留

緩やかに蛇行させた動線の両側にデッキや施設の庭を設けることで、人々の滞留を生み出します。静かな塙と木々の自然や風の流れを体で感じながら人々の交流を促します。

ゆっくりヶ淵

千鳥ヶ淵緑道に渡る車道を廃止し、歩行者と自転車の専用道路とします。外国人施設や病院、学校、千鳥ヶ淵戦没者墓苑など多岐に渡る施設の庭と広く開放することで利用者は、美しい桜並木と北の丸公園の自然を眺めながら一人の時間を過ごせる一方で、他施設の利用者との接点となり交流を生み出します。

モビリティステーション千鳥ヶ淵

住宅街や官庁に面するモビリティステーションでは千鳥ヶ淵の美しい風景を望むカフェを併設したサイクルポートを提案します。朝から夜まで利用が可能とすることで千鳥ヶ淵展望デッキやゆっくりヶ淵へと足を伸ばすきっかけとなります。

動線の分離

現在の歩道を自転車専用道路とし、お濠側に歩行者専用道路を設けます。速度を分けたデザインにすることで各々が快適な速度で散歩を楽しむことができます。

千鳥ヶ淵展望デッキ

千鳥ヶ淵砲台跡が残るこのエリアでは道路沿いに伸びる歩道を自転車専用道路とし、高台の展望を活かします。緩やかなスロープにて散歩道を設けることで徐々に都会の喧騒から離れお堀の水と桜の美しい風景に出会えます。そして斜面に沿って緑を抜けると水辺に浮かぶカフェ千鳥ヶ淵堀ノ中店と誘われます。

ゾーニング

商業エリア	教育施設	商業施設 店舗
教育エリア	ナレコモスペース	オフィス
北の丸公園エリア	モビリティステーション	外国人施設

Scale: 1/4000

10 濠の道



濠の道と水質浄化システム

浄化剤 蛇かご
プランクトンによる浄化剤を入れるスペースを設け、蛇かごに水生植物が繁殖していく自然の作用と、人工的に浄化剤を用いた水質改善。

ポーラスコンクリート
多孔質のコンクリートで強度、耐久性と、土の植栽機能を併せ持っている。水生植物が育ち、魚の居場所をつくる。

千鳥ヶ淵の中を渡る濠の道を支える蛇かごに、水質浄化剤を入れるイベントを行いながら、水質浄化をしています。また蛇かごには様々な隙間が生まれ、魚の産卵所やエサ溜まりとなり、多くの魚の居場所になります。

3 田安門ブリッジ



このエリアを南北に隔てるこの交差点に北の丸公園から東京理科大、そして飯田橋プロムナードへと連続した緩やかなスロープを掛けます。2020年のオリンピックなど武道館にてイベントが行われる際、スムーズなモビリティの流れを生み出します。

地域で発電し、エレキサイクルへの転用

交通量の多い首都高速、靖国通りの車両通行に伴う振動を生かす

太陽光発電
首都高速南面の防音壁を生かす

振動発電

サイクルステーション
エレキサイクル

回遊性や行動の範囲を広げるための快適な移動環境の核となるエレキサイクルの電力を、交通量の多い近辺の道路を生かして発電し兼ねません。モビリティステーション各所に充電スタンドを設けることで、駐輪時に自動で充電することができます。

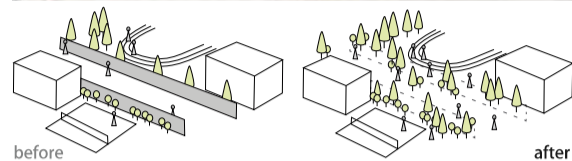
1 飯田橋ゲート

登録番号 15-②



サクラテラスにナレコモの主組織を置き、ナレコモの案内看板やシンボルツリーのあるナレッジ広場、サイクルポートを設けます。飯田橋駅やサクラテラスといった人々の活動拠点を巻き込む事でより多くの集客を集め、活動を知ってもらうきっかけとなります。

2 ナレッジプロムナード



4 モビリティステーション 田安門



周辺駅やプロムナード、靖国通りやゆっくりヶ淵といったルートからアクセスが可能であり自然と人やモビリティを引き込むような道なりのランドスケープとします。木目調の庇と透明感のあるファサードによって桜並木を望むなど春夏秋冬楽しむことができます。

5 北の丸水源



既存の池を活かしてヨシやホソミヅツネトボ、アズマヒキガエルといった千代田区の特徴的な生態系の住処として手を加えていきます。また、デッキをかけることでより水辺に感じながら生物との共存空間を提供することが出来ます。

6 駐車をコンバージョンした苗木広場



植樹の活動が皇居と神田川の生態系をつなぎ増強する



植樹の活動が続けられ、多くの支援を得ることで町に緑が広がり成長を繰り返すことで、皇居の生態系が外に染み出していきます。長い年月をかけて外苑の神田川等の既存の生態系となつて多様性を生み出し豊かな生態系環境を創出していきます。

一時帰宅困難者用のシェルターにもなる地下駐車場

オフィス街の中心であり、ライブなど多くの来場者が日本武道館に一時的に集まるこのエリアでは、震災時多くの帰宅困難者が生まれることが想定されます。既存の駐車場を地下に設けることで、駐車場の機能のほかに雨風を凌ぐ一時的なシェルターとして一時利用の来客者を守る機能を果たします。

7 プレイパーク



現在の閉ざされた森林を開放します。樹木医等のインタープリターを筆頭に学生や子供たちが協力し公園の樹木を管理しながら、秘密基地や木登りしたりと自発的な遊びを誘発する。

8 清水お濠デッキ



清水お濠にある現在の歩道を自転車専用道路とし、お濠の水面に歩行者専用のデッキを設けます。都市の喧騒から離れた水辺の散歩道空間には空間では運動する社会人やランチを食べるOLなどオフィス街から人々が誘われます。

9 カフェ・千鳥ヶ淵濠ノ内店



濠の道を通り抜け、徐々に水面に近づきながらアプローチを抜けると濠に浮かぶような水辺のカフェが現れます。アイレベルから見ると水辺の風景は今までの北の丸公園の風景を感じさせ、観光客や住人にとってまるで秘密基地のような特別な場所となり、観光資源となる魅せる風景が形成されます。